

＜ 国 語 ＞ 科 学 習 シ ラ バ ス

科 目	現代文B	学年・類型	2年生Ⅱ型	単位数	3単位	教科書	高等学校 改訂版 標準 現代文B (第一学習社)			
学習の到達目標		近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。								
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 話す・聞く能力	C 書く能力	D 読む能力	E 知識・理解					
評価の内容	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。					
評価の方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・予習や復習、課題への取り組み状況 ・ノート、プリント類 ・長期休業中課題	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント類	・レポート・感想文などの作成した文章 ・ノート、プリント類 ・感想文 ・定期考査	・学習活動における発言内容や音読や態度 ・ノート、プリント類 ・定期考査	・学習活動における発言内容 ・ノート、プリント類 ・単元別テスト、漢字小テスト ・定期考査					
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 観 点 等				
						A	B	C	D	E
1 学 期	4	自己を見つめる 「私」という「自分」	・随想の読み方を習得する。 ・具体例と抽象的な記述との関係を理解する。 ・「自分らしく生きる」ことについて、自己の生き方に引きつけて考える。 ・「自分を表現する」ということと「自分を聞く」ということの関係について理解し、コミュニケーションの方法について主体的に考える。			○			○	◎
	5	小説を読む(一) 調律師のみ子さん デューク	・現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを習得する。 ・主人公の過去と、現在おかれた状況について整理し、その行動とのつながりを読み取る。 ・登場人物の心情を変化させた事物に着目し、小説全体の構造とねらいを理解する。			○	◎			○
	6	新しい発見 新しい地球観 ヒトはなぜヒトになったか	・随想的な要素を持つ評論の読み方を習得する。 ・筆者がオーサグラフ地図から受け取ったメッセージとはどのようなものかを考える。 ・様々な地図が形作る「世界の見方」について考える。 ・論理的な文章の読み方を習得する。			○			◎	○
	7									
2 学 期	8 ・ 9	詩を味わう そこにひとつの席が この世 永訣の朝	・現代詩や近代詩の鑑賞のしかたを習得する。 ・詩にこめられた情景や心情や作者の思いを読み取る。 ・擬人法、視点の逆転等、表現上の特色について理解する。 ・妹の死を契機として、作者の心がどのように高められていったのかを読み取る。 ・作者の思いに迫り、自己の生き方に引きつけて考える。 ・作品の主題をまとめる			◎		○		○
	10	言葉と生活 情けは人の…… 「マジ？」	・随想的な要素を持つ評論の読み方を習得する。 ・ことわざの誤用が生じる要因を読み取る。 ・筆者の言葉に対するこだわりや愛着を理解し、自らの言語生活を見つめ直す。 ・「マジ」という言葉の「語誌」を例として、言葉の意味の変遷について理解する。 ・具体的な言葉の「語誌」を調べ、言葉の歴史について理解を深める。			○			◎	○
	11	小説を読む(二) 相棒 ナイン	・現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを習得する。 ・時間の経過に伴う登場人物の性格・心理・行動の変化を読み取る。 ・小説の語り手の存在について意識しながら、全体の構成をつかむ。 ・作品の主題を理解し、人や人生に対する見方を深める。			○	◎			○
	12	人間と文化 コミュニケーション の文化	・日本の文化の特徴を把握する。 ・日本のコミュニケーション文化をどのようにしていくべきか考察する。 ・論理的な文章の読み方を習得する。			○		○		◎
3 学 期	1	小説を読む(三) 鼻 こころ	・近代の代表的な短編小説と長編小説を読解する。 ・内供の人物像や心情の変化を読み取る。 ・小説世界を自己のものの見方や考え方に引きつけて考える。 ・登場人物の性格・心理・行動を読み取り、その変化をつかむ。 ・登場人物の生き方と、自己の生き方とを対比して、考えたことを自分の言葉でまとめ発表する。			○			◎	○
	2	実用の文書 注連縄一つましく貧しく清楚 な形 東京タワー―揺れる天空で決 死の塗装	・目的に応じて異なる、実用の文章のねらいや効果について理解する。 ・注連縄について、この文章から読み寄れる情報を整理して理解する。 ・記事の要点をよりよく伝えるために、筆者が施している文章上の工夫について考える。			◎	○			○
	3	ノーベル賞VS.イグ・ノーベル賞								
学習のポイント		教科書の本文の音読をする。内容が理解できるまで繰り返し読む。 ノートやプリントは確実に仕上げる。自宅で予習と復習をし、分からない箇所を質問する。 関心・意欲・態度・話す力・聞く能力・書く能力・読む能力・知識・理解を身に付けるための努力をする。								